

国内外の警備業務等の分野における AI 活用事例調査
仕 様 書

1. 件名

国内外の警備業務等の分野における AI 活用事例調査

2. 目的

原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター(以下「ISCN」とする。)が有する技術的知見や実務経験に基づく核セキュリティ警備業務に関する研究機能の補完や充実・強化及び ISCN 実習フィールドにおける新たなトレーニング用機材の開発調査を目的として、国内外の警備業務等における AI の活用事例等を調査する。

3. 仕様概要

国内外の警備業務等の分野における AI の活用事例等を調査し、AI の活用により得られる成果と課題について整理する。

4. 仕様詳細

4.1 実施内容

国内外の警備業務等の分野における AI の活用事例等を調査し、整理する。

4.2 作業内容

4.3に記載する調査項目の情報を文献検索、関係者へのインタビュー、AI 関連セミナー等により収集及び調査し、その結果を報告書として提出する。なお、受注者は、調査の過程で随時、原子力機構からの質問に回答するとともに、新たな追加情報があった場合は面談、WEB 会議、メール等により原子力機構担当者に報告を行う。

情報の収集に当っては、公開情報の利用のみならず、独自の情報網を使用し、関係機関、警備会社及び AI 開発関係者等、適切な箇所での聞き取り等を実施する。

4.3 調査項目

(1) 国内外の警備業務等における AI の活用事例及び AI により得られる成果と課題の考察

国外の警備業務等の分野において公開情報及び独自の情報網から得られた情報について、業務の概要、AI の活用方法、活用実績、AI により得られる成果と課題について、写真や図を効果的に使用して整理する。整理する AI 活用事例は、分類及び特別な国に偏らないものとし、調査対象は国内外合わせて 6 件以上(うち国内 3 件以上、国外 3 件以上)の事例を挙げること。

(2) 調査結果の分類整理と今後の動向

(1)の事例について分類し、調査結果から得られた情報を考慮し、警備業務等の分野における AI 活用について今後の動向を考察すること。

5. 納期

令和8年9月30日

6. 提出書類

(1) 調査実施計画書

契約締結後、速やかに1部(ワード資料)を提出する。

(2) 中間報告書

調査の途中経過をワード資料又はパワーポイント資料で提出し、契約期間内に最低1回の中間報告を行う。

(3) 最終報告書

調査結果を整理した上で、印刷物(A4 バインダー綴じ)及び電子媒体(CD-ROM又はDVD)1部を最終報告書として提出する。

7. 提出場所

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 本部 安全管理棟
原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター 能力構築支援室

8. 検収条件

第6項に示した提出書類の完納及び確認、並びに原子力機構が本仕様書の定める業務が実施されたと認めたときを以って、業務完了とする。

9. 特記事項

(1) 本作業の実施に当たって疑義が生じたときは、解決を図るために速やかに原子力機構と受注者との間で協議するものとする。

(2) 納入物件の所有権及び著作権、その他の技術情報にかかわる権利は、原子力機構に帰属するものとする。

(3) 本件で知り得た情報等を、原子力機構の許可なく使用、公開しないこと及び第三者に漏らさないこととする。

(4) 報告書等に用いる「紙類」にあつては、グリーン購入法に適合するものを使用するものとする。

以上